

仏果山初夏のハイキング

日時：2023年5月20日（土） 天候：曇 健脚LV2 歩数：19000歩
行動時間：5時間30分

集合：小田急小田原線本厚木駅 9時（本厚木駅9時17分発のバス乗車）

コース 本厚木駅(バス)→愛川ふれあいの村野外センター前バス停→愛川ふれあいの村[🌲]→野外炊事場→
東の平→モミの木分岐→高取山（標高705m）→宮ヶ瀬越→仏果山（標高747m）→鉄塔下→
林道ゲート[🌲]→半原バス停[🚌]（バス）→本厚木駅

参加者 熊坂L 山田SL 三田SL 勅使河原 斎藤優 栗田 市村 丹後 玉利 工藤 田村

11人

仏果山は、丹沢山地の東部に位置する標高747mの山です。愛川町と清川村の境界線上にあり、低山で登山道がよく整備されている家族連れなどでも登りやすい山です。私の住む平塚から展望すると大山の右に、高尾山からは大山の左に見えます。

神奈川ウォーキングクラブでは、2014年4月26日の「関東ふれあいの道⑫丹沢山塊東辺の道」で、高取山経由ではなく坂尻バス停から半原越え経由で仏果山に上りました。吉野さんのリーダーで行われ、24人（吉野 勅使河原 藤崎 吉越 五十嵐志 五十嵐し 神谷 熊坂 高橋文 伊藤真 小野里 青松秀 内田絵 斎藤優 新谷 宮野 関水 小島 山川 市村 草野 山下 山口 一般参加の中村ゆかりさん（当日入会））が参加しました。

本厚木駅バス停からの愛川ふれあいの村野外センター前経由半原行きは1時間に1本運行。「今日の天気予報は曇り、雨の心配はなさそう」「今朝は早く目覚めてしまったわ」「久しぶりの健脚参加、少し心配」などなどと話しながらバス待ち。「仏果山初夏のハイキング」、レッツゴー。



本厚木駅～愛川ふれあいの村野外センター前バス停～センター管理棟

愛川ふれあいの村野外センター前経由半原行き 9時17分発に乗車して一路北上、乗客は私たち以外はごくわずか。途中乗客の乗り降りがりましたが、半増坊手前から山間に入ると「KWC専用バス」に。山に雲がかかっており、少し天気心配になってきました。10時2分、愛川ふれあいの村野外センター前バス停に到着。広大な野外センターの広場で子どもが遊んでいて「こんにちは」と元気に声をかけてくれました。緩やかな坂道を上り、管理棟へ。多目的ホールでは町民のみなさんが体操などサークル活動を楽しんでいました。下山までトイレがないので、ここでトイレを借用です。



運賃	0	1	2	3	4	5
現金	580	540	520	490	440	390
IC	576	535	514	483	440	388
回数券	340	300	250	250	190	180
回数券	336	294	242	242	189	178
回数券	180	178				



野外炊事場 ヒル対策 登山道入口 10時47分～11時9分 東の平

野外センターの敷地の一番上まで上って行きテント場一角の野外炊事場へ。リュックサックを置きストレッチ、熊坂リーダーがコース説明。リーダー持参の虫よけスプレーで、みなさんヒル対策をしてもらいます。炊事場の上が高取山・仏果山登山道入口、南西方向の高取山をめざして10時47分にスタートです。仏果山までの先頭歩きは山田サブリーダー、九十九折りの急登が続きます。標識が出てきて、バス停留所から1.3km、ふれあいの村から500m上ってきた表示。高取山までは1.7kmです。林道を横切り11時9分、先頭グループが展望の良い東の平へ到着。しかし霪っていて景観は望めませんでした。



東の平～モミの木分岐～11時57分 笑顔で高取山山頂(標高705m)

後続を待って11時17分スタート、杉木立の中を上って行きます。かなりの急登で汗ばんできます。11時33分、先頭グループがモミの木分岐へ到着。樹齢何百年かのモミの木談議などをしてしていると後続が到着、「ヒルがいる」との声。休む間もなく高取山をめざすことにします。霧のつつまれて幻想的な風景が広がり、そこを抜けると空の青さが広がります。山頂直下の急登を上っていくと「高取山まであと300m」の標識、もうひと踏ん張りです。11時57分、高取山山頂へ到着。後続も続きます、丹後さんは笑顔の控えめVサイン、玉利さんは両手を広げて満面の笑顔、最後尾の熊坂リーダーが微笑んでいます。



ヒル被害 高さ13mの展望台 晴れていれば360度のパノラマ

山頂はかなり靄っています、ヒル対策で木の下を避けて昼食タイム。昼食も終わるころ山田さんの靴下が真っ赤、右足にヒル。三田さんが払いのけ、熊坂さんが消毒。三田さんが指さしているのが血を吸って膨れ上がったヒル。みなさんヒルの被害がないか総チェック、ところが私の右腕にヒルが、田村さんが払いのけてくれました。ヒル騒動も一段落して、6人が高さ13mの展望台へチャレンジ。しかし何も見えません。下の写真は下見のときのもの、360度のパノラマで西の方向に丹沢山塊、眼下に宮ヶ瀬湖が見えました。



高取山 12時38分～宮ヶ瀬越～13時17分 仏果山(標高747m)

集合写真を撮って12時38分、南東方向の仏果山をめざしてスタートです。仏果山まではアップダウンのある尾根道歩き、下り始めたところに鮮やかな色のヤマツツジが咲いていました。大分下ったところに「春～秋 山ヒル注意」の看板、「もう被害にあいましたよ～」の声。500m進んで「宮ヶ瀬越」の標識、右に下りれば宮ヶ瀬湖です。霧につつまれて景観は望めません、しかしこの幻想的な雰囲気の高山ハイキングも思い出に残ります。最後は木段の急登、右側からの尾根道(2014年4月26日、丹沢山塊東辺のみちで半原越えから上ってきた道)と合流。その10数メートルほど先が仏果山山頂、13時17分到着です。



仏果山 13時35分～急峻な下り ヤマツツジ ヒトリシズカ 鉄塔下

高取山から尾根道を1.3km歩き、仏果山山頂へ続々と到着、ここの山頂にも13mの展望台があります。晴れていれば高取山と同じような素晴らしい景観が望めるのですが、靄っているので誰も上りませんでした。お菓子の差し入れもあり、みなさん水分補給をして一息入れます。仏果山山頂標識を挟んで集合写真をパチリ。13時35分、北東方向の半原バス停をめざして下山開始です。ここからの先頭歩きは三田サブリーダー、急峻な下りをみなさん続きます。ヤマツツジやヒトリシズカ、新緑の緑が心地良いです。大分高度を下げ、視界が開けてきて目印の鉄塔のところへ下りてきました。眼下の半原集落を見下ろして小休憩です。



鉄塔下～杉木立の下り～林道出合い～14時52分 ゲートがある林道

英気を養ってスタートです。先頭は三田サブリーダー、2番手は今年加入された田村さん。このお二人、ストックも使わずに街中を歩くような軽快な足取りで下りていきます。展望が広がっているところから再び杉木立の中を下ります。仏果山から1.5km歩き林道出合いまで下りてきました。山田さん、ヒルのことはすっかり忘れていたのか余裕のポーズで石段を下りてきます。林道を横切り、再び杉木立の中を下ります。14時52分、ゲートがある一番下の林道へ下りてきました。関東ふれあいの道石柱がありました。みなさん、ヒル被害がないか靴やリュックサックなどを点検です。



撚り糸発祥の地半原 15時32分 半原バス停 歩数：1万9000歩

林道から住宅が点在する道へ出ます。半原バス停まで900mの標識、半原山頭妙寺の前を通過して住宅街へ。中津川右岸に出たところに「撚り糸発祥の地半原」のモニュメントがありました。「撚糸（ねんし）」業とは糸に撚りをかけて糸に強度や弾性を加え、織物・編み物・縫糸・紐類・工業用資材などの材料を提供する中間工程のことで、半原はかつて全国のミシン糸の90%を生産していた時期もありました。15時32分、半原バス停へ到着。隣の愛川繊維会館の駐車場一角をお借りしてヒルチェックとクールダウン。歩数1万9000歩、行動時間5時間30分でした。16時2分発のバスに乗車、17時前に本厚木駅に着きました。



入会して山と意識して最初に登ったのが標高747mの仏果山、健脚コースではなく一般コースでした。坂尻バス停から里山風景が広がる緩やかなアスファルト道を上っていき「仏果山まで2.5kmの標識」、ここからが山道。かなり急峻な上り、そして宮ヶ瀬湖や丹沢山塊の展望が良い痩せ尾根。しかし展望を楽しむ余裕なく、山頂についてから宮ヶ瀬湖をゆったりと見ることができました。ほろ苦い思い出の仏果山、3月の下見を含めて今回3回目。曇時々靄、下界から見ると雲の中にいたのでしょうか、靄につつまれた幻想的な「仏果山初夏のハイキング」でした。

(いちむら記)